

村 長	副村長	教育長	審議監
了	了	了	了

R5.6.2.09:30

総務課長	防災係長	防災係	起 案
了	了	了	中 渡

# 令和5年度球磨村防災会議資料

5 . 6 . 7

総 務 課 防 災 管 理 官

## 令和4年度の避難指示等

- 令和4年度に球磨村で発令した避難指示等は**6回**（令和3年度は7回）であった。
- 球磨村は、7月9日未明に**記録的短時間大雨**に見舞われた。
- **台風14号**は、9月18日に非常に強い勢力を維持し、九州西岸を北上した。

番号	時 期	避難指示等	警報の種類等	指定緊急避難場所への避難者
1	4/26日(火) 1730- 4/27日(水) 0600	第3レベル 高齢者等避難	大雨・洪水警報 ※6/11梅雨入り	4世帯 5名
2	7/9日(土) 0110- 7/10日(日) 1600	第4レベル	記録的短時間大雨情報 8集落が孤立	指定緊急避難場所 未開設
3	7/15日(金) 1700- 7/16日(土) 0800	第3レベル 高齢者等避難	大雨・洪水警報	19世帯 36名
4	7/18日(月) 1700- 7/19日(火) 1700	第3レベル 高齢者等避難	大雨・洪水注意報	18世帯 27名
5	9/5日(月) 1600 9/6日(火) 0730	第3レベル 高齢者等避難	台風11号 大雨注意報	11世帯 20名
6	9/17日(土) 1600- 9/19日(月) 1500	第5レベル 緊急安全確保	台風14号 暴風警報 一房ダム緊急放流	70世帯 155名

## R4.7.9 集中豪雨（記録的短時間大雨情報）に係る役場の対応行動等（抜粋）

- 球磨村に、記録的短時間大雨情報が発表された。（※大雨洪水注意報が発表されてから22分後）
- アメダス一勝地によれば、00時から03時の3時間雨量が221.5ミリであった。  
（※令和2年7月豪雨の24時間雨量の約半分の雨）

時 間	気象情報等	役場の対応行動	指定緊急避難場所 への避難者
7.9日(土)			指定緊急避難場所 未開設
00:48	大雨洪水注意 報	※アメダス一勝地 00~01：78.5ミリ	
01:02	大雨洪水警報	01~02：68.5ミリ	
01:10	記録的短時間 大雨情報	02~03：64.5ミリ 計221.5ミリ	
01:10		災害対策本部体制に移行	
02:45		防災無線放送① ※注意喚起	
05:35		浦野孤立情報	
05:50	大雨警報解除		
06:15		防災無線放送② ※道路状況	
06:43		職員呼集メール	
07:23	洪水警報解除		
08:24		第1回災害対策本部会議	
10:24		第2回災害対策本部会議	

## R4 台風14号における避難の呼びかけと避難の実態



- 指定緊急避難場所への総避難者数155名のうち明るいうちに避難した人は118名であった。(76%)
- 18日(日)23:13分に、球磨川の氾濫危険情報を防災無線放送したが、すでに132名が避難を完了していた。(85%)
- 19日(月)01:30分に、緊急安全確保を発令したが、すでに149名が避難を完了していた。(96%)
- 上記の他、16世帯24名が公民館等に自主避難した。



19日(月)0630頃の相良橋

# 自主防災組織

・令和4年度は、[渡西](#)・[横井](#)・[松舟](#)が新たに自主防災組織立ち上げた。

番号	認定日	組織名	会長	備考
1	平成31年 3月 1日	松谷 自主防災組織	松谷 昭義氏	○球磨村は、平成31年2月に、 <a href="#">球磨村自主防災活動支援事業実施要項</a> を制定しました。
2	平成31年 3月15日	地下 自主防災組織	久保 信治氏	
3	平成31年 3月15日	吐合・中屋 自主防災組織	吐合 征勝氏	
4	平成31年 3月25日	那良 自主防災組織	那良 正光氏	
5	平成31年 4月18日	伊高瀬 自主防災組織	伊高 勝氏	○球磨村における自主防災組織とは、 <a href="#">提出された地区防災計画及び日頃の防災活動を審査し</a> 、球磨村長が自主防災組織として認可した組織を言う。
6	令和 元年 7月 1日	小川 自主防災組織	小川 豊明氏	
7	令和 元年 7月 4日	中園 自主防災組織	永椎 三郎氏	
8	令和 元年10月11日	田代 自主防災組織	田代 洋介氏	
9	令和 2年 3月30日	峯 自主防災組織	地下一郎氏	
10	令和 2年 4月 7日	島田 自主防災組織	久保田 秀治氏	
11	令和 3年 7月14日	大瀬 自主防災組織	大瀬 啓一氏	
12	令和 3年11月24日	大無田 自主防災組織	槻木 哲男氏	
13	令和 3年11月24日	上蔀 自主防災組織	上蔀 繁樹氏	
14	令和 3年11月24日	楮木 自主防災組織	犬童 大輔氏	
15	令和 4年 9月12日	渡西 自主防災組織	岡 義一氏	○黄色は令和4年度に認可した自主防災組織
16	令和 4年 9月27日	横井 自主防災組織	横井 博文氏	
17	令和 5年 1月18日	松舟 自主防災組織	松舟 博志氏	
18	令和 5年 5月15日	境目 自主防災組織	境目 伸二氏	



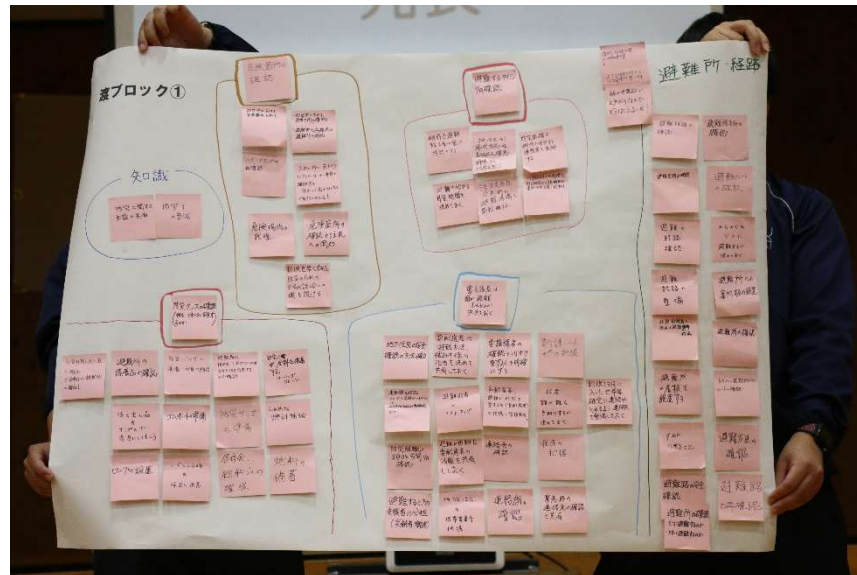
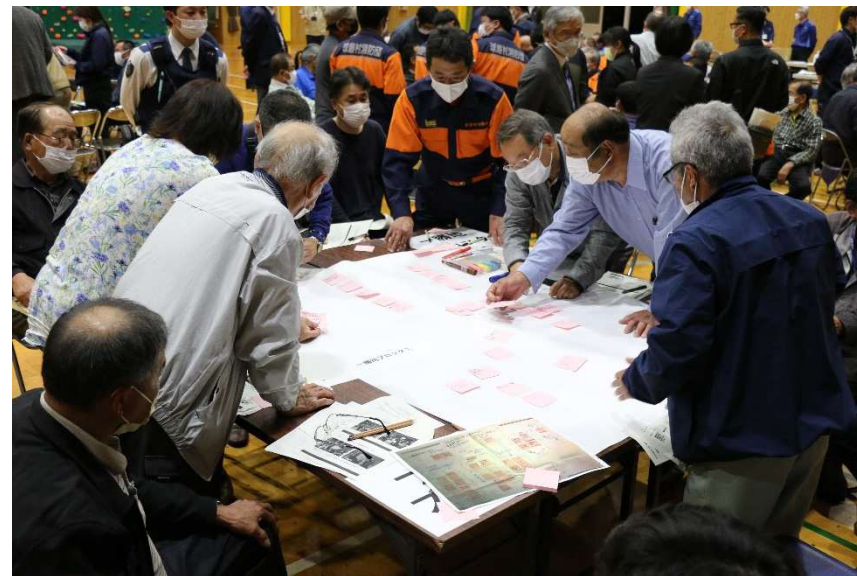
# R4 村民防災ブロック会議（4.12）



- 1 梅雨期までに、何を・どの様に準備すべきか、約150の参加者が真剣に議論した。
- 2 意見交換により、情報共有した。



# 令和5年度 村民防災ブロック会議 (4.18)



- 1 梅雨期までに、何を・どの様に準備すべきか、122名の参加者が真剣に議論した。
- 2 意見交換により、情報共有した。



# 令和4年度 防災学習 (12.4)

P33関連



地震発生



避難者の受付支援



IP無線体験



自衛隊員による説明



お礼の言葉



消防隊員による説明



ジェットシューター体験



炊き出し



段ボールベッドの組み立て



## 令和2年7月豪雨に係る伝承実績等

□ : 村内で実施  
 ■ : 村外で実施

- ・ 令和2年7月豪雨の教訓伝承は生かされた者の使命である。
- ・ 全国で多発する災害に備えて貰い防災・減災に繋げる。

番号	時 期	場 所	研修会等	備考
1	4.5.13	球磨村	災害マネジメント総括支援員研修	
2	4.5.26	球磨村	地方経済研究所員研修	かたりべ
3	4.6.11	球磨村	広島県安芸高田未来創生の会	かたりべ
4	4.7.11	球磨村	高知県安芸郡北川村議会研修	
5	4.8.3	球磨村	北九州市教育委員会研修	
6	4.9.11	熊本市南区	熊本市南区防災会議	
7	4.11.1	兵庫県三木市	兵庫県市町村職員防災基本研修	
8	4.11.12	球磨村	鹿児島県社会福祉法人 福寿会	
9	4.11.28	球磨村	熊本県天草市牛深支所牛深町区長会	
10	4.11.29	球磨村	熊本市西区公民館連絡会	かたりべ
11	4.12.1	東京都小平市	水害タイムライン	
12	4.12.10	球磨村	宮崎県延岡市尚学館高校	かたりべ
13	5.1.6	大阪府大阪市	大阪府都市整備部防災講演会	

## 令和2年7月豪雨に係る伝承実績等

番号	時 期	場 所	研修会等	備考
14	5.1.24	北海道札幌市	北海道市町村職員防災基本研修	
15	5.1.30	球磨村	鹿児島県鹿児島市消防局	
16	5.2.10	球磨村	福岡県那珂川市職員	
17	5.2.11	熊本市北区	熊本市北区防災会議	
18	5.2.15	球磨村	台湾教育旅行事前確認	かたりべ
19	5.2.16	球磨村	福岡県粕屋北部消防本部	
20	5.2.17	球磨村	高知県高幡消防組合梶原消防団	
21	5.2.22	北海道滝川市	北海道滝川市防災サポーター研修	
22	5.3.16	球磨村	非常通信協議会	オンライン
23	5.3.23	球磨村	熊本県教育旅行現地調整	かたりべ
24	5.3.30	球磨村	えびの市役所職員	

村内×16回  
 村外×7回  
 オンライン×1回



## 令和4年度「球磨村全村民が避難について考える日」



住民の実避難を把握する災害対策本部



峯及び島田集落における合同避難訓練の様子

## 1 狙い

住民自らが考え行動することでスキルアップを促した。

## 2 時期

令和4年5月15日（日）

## 3 概要

(1) 09:00に高齢者等避難、10:00に避難指示を発令した。

(2) 住民は、集落の災害特性に併せた行動を実施した。

(3) 約250名の村民が実動により参加した。

(4) 災対本部は、避難者及び被災状況を県の防災情報共有システムを利用した報告訓練を実施した。

## 令和5年度 球磨村全村民が避難について考える日



住民の実避難等を把握する災害対策本部



大瀬自主防災組織の車椅子避難訓練の様子

- 1 狙い  
住民自らが考え行動することでスキルアップを促した。
- 2 時期  
令和5年5月14日（日）
- 3 概要
  - (1) 09:00に高齢者等避難、10:00に避難指示を発令した。
  - (2) 住民は、集落の災害特性に併せた行動を実施した。
  - (3) 約230名の村民が実動により参加した。
  - (4) 災対本部は、避難者及び被災状況を県の防災情報共有システムを利用した報告訓練を実施した。



## 指定避難所等の整備実績

- 令和4年度配備実績は、**8,685千円**である。
- **指定緊急避難場所6か所及び指定避難所たる公民館等8か所**に対して、**発電機、エアコン、テレビ及び備蓄品等**を整備した。
- 令和4年度は、**小川自主防災組織**が、**コミュニティ助成事業**を活用し**公民館整備**を実施した。



【小川班の応急担架作成訓練】



【吐合・中屋班の炊出し訓練】



【柳詰班の避難所体験訓練】



【黄壁班の避難訓練】

## 各警戒レベルに基づく、役場及び村民の行動基準

警戒レベル	災害情報等	役場の体制	役場等の編成	役場等の行動	村民の行動
第5レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 村内に大雨特別警報の発令</li> <li>• 村内に線状降水帯が発生</li> <li>• 村内に氾濫発生情報</li> <li>• 村内に震度6弱以上の地震が発生</li> </ul>	災害対策本部体制	全職員で対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 緊急安全確保を発令</li> <li>• 村民の命を守る最善の行動を指示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• すでに安全な避難ができず、命が危険な状態であり、いまいる場所よりも安全な場所に直ちに移動する。</li> </ul>
第4レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 村内に土砂災害情報の発表</li> <li>• 村内に記録的短時間大雨情報の発表</li> <li>• 村内に災害が緊迫</li> <li>• 氾濫危険水位超え（渡）</li> <li>• 村内に氾濫危険情報の発表</li> <li>• 村内に震度5弱以上の地震発生</li> </ul>		全職員で対応することを基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 避難指示を発令</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 過去の重大な災害の発生時に匹敵する状況であり、この段階までに避難を完了しておく。</li> <li>• 台風等により某風が吹き始める前に避難を完了しておく。</li> </ul>
第3レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 村内に大雨（洪水）、暴風警報の発表（夜間に発表の可能性を含む）</li> <li>• 水防団待機水位超え（渡）</li> <li>• 村内に震度4以上の地震発生</li> </ul>	警戒体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 関係課長</li> <li>• 避難所管理者の指名する者</li> <li>• 社協事務局長の指名する者</li> <li>• 防災担当職員等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢者等避難を発令</li> <li>• 指定緊急避難場所の開設</li> <li>• 福祉避難所の開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 高齢者以外の人にも必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難行動を開始する。</li> <li>• 高齢者等は立ち退き避難を基準として避難を開始する。</li> </ul>
第2レベル	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 村内に大雨注意報の発表</li> <li>• 村内に洪水注意報の発表</li> </ul>	情報収集体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災担当職員</li> <li>• 避難所担当職員</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 気象情報を収集</li> <li>• 避難所の開設準備を完了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する等、災害への備えを万全にする。</li> </ul>
第1レベル	近く警報級の大雨が降るとの予報		防災担当職員	気象情報を収集	災害への心構えを高める。



## 指定緊急避難場所等要員の編成等

(R5.6.7修正)

区 分	避難所管理者	担 当 職 員			
さくらドーム及び同周辺地域	高沢 美由紀	舟戸 文吾 大坂間 一樹 牛塚 友紀 松野 伊代	吐合 未樹 永井 健太郎 浦野 由紀 椎屋 美沙	洲上 紗希 赤池 尚美 上部 由美	
せせらぎ避難所 ※球磨中屋内運動場を含む	日隠 啓知	野々原 しおり 野々原 真矢 杉本 慧和	淋 茜 岡本 佑也 上田 晃輔	橋詰 達夫 横谷 育代	
コミュニティセンターたかさわ	舟戸 光博	高沢 健悟 高沢 絵利奈 蓑毛 智和	天野 恭平 山口 拓 武内 龍也	中渡 孝之 椎葉 勇二	
田舎の体験交流館「さんがうら」	那良 昌宏	槻木 和明 中村 晴香 竹下 美咲	永椎 陽南子 簗田 琴音 簗田 武洋	橋本 福馬 中村 はづき	
神照寺 ※指定避難所として運用	伊高 久美子	音山 智史 徳永 雄二			

# 令和5年度 災害対策本部の編成及び主要な任務

別紙関連

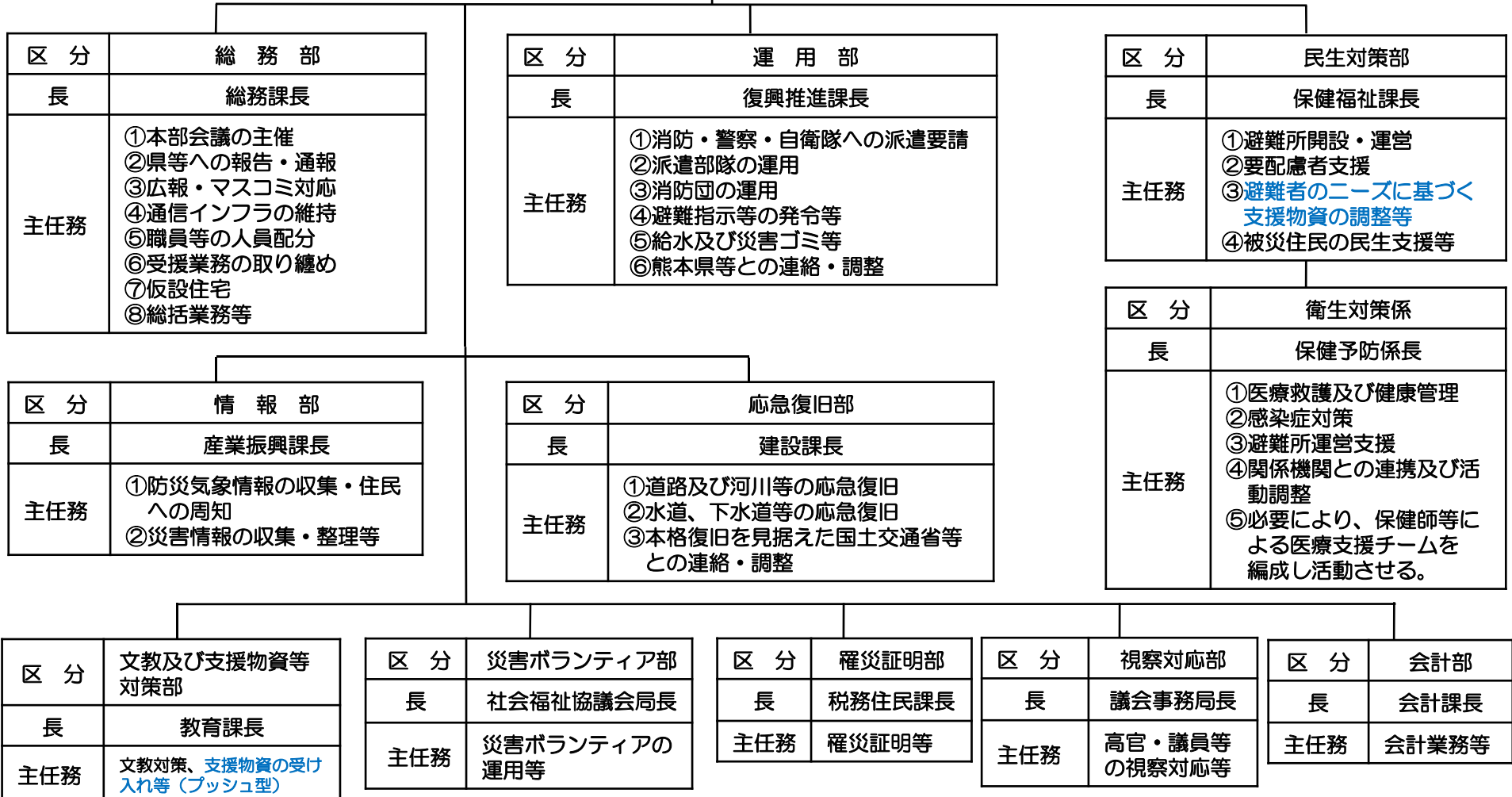
## 考慮要件

- 1 結節毎、本部会議を開催し、情報共有意思疎通及び対応方針等を決定する。
- 2 発災後、主要な段階において、編成及び各部の人員配分を見直す。
- 3 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について(平成31年4月1日施行)及び勤務の長期化と職員の疲労を考慮し、勤務時間は連続して8時間を越えないように配慮する。  
細部は、別紙第8「指定緊急避難場所等要員の編成等」による。

災害対策本部長
村 長

防災管理官	災害対策副本部長	副 村 長
防災係長		教 育 長
防災係		政策審議監
球磨村消防団長		

区 分	現地指揮所
編 成	別示
主任務	①現地指揮 ②現地確認 ③情報収集等



# 令和5年度 災害対策本部要員

## 考慮要件

- 結節毎、本部会議を開催し、情報共有意思疎通及び対応方針等を決定する。
- 発災後、主要な段階において、編成及び各部の人員配分を見直す。
- ※印の職員は、警戒体制の段階で、避難所の支援要員として勤務できる職員
- 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について（平成31年4月1日施行）及び勤務の長期化と職員の疲労を考慮し、勤務時間は連続して8時間を越えないように配慮する。細部は、別紙第8「指定緊急避難場所等要員の編成等」による。

災害対策本部長	
松谷 浩一	

防災管理官	中渡 徹
防災係長	上部 準也
防災係	坂崎 博憲

災害対策副本部長	上部 宏
	森 佳寛
	田中 真一郎

球磨村消防団長	松野 三千夫
---------	--------

区分	現地指揮所
編成	別示
人員	別示

区分	総務部
部長	境目 昭博
総務係	山口 智幸
	岩本 紘一
	河野 泰広
	尾方 由里恵
	木屋 ありさ（PR）

区分	運用部
部長	友尻 陽介
運用係	内布 偉貴

区分	民生対策部
部長	大岩 正明
民生係	淋 真也
	犬童 翔一郎
	松本 憲吾

区分	情報部
部長	毎床 貴哉
情報係	木屋 正行
	淋 辰生
	大無田 卓

区分	応急復旧部
部長	松舟 祐二
応急復旧係	毎床 公司
	佐々木 亨
	永椎 文規
	大岩 誉

区分	衛生対策係
係長	槻木 亜里沙
衛生係	欠

応急復旧部待機要員	
深水 響	浦野 祐磨
地下 克愛	部 祐太郎

区分	文教及び支援物資等対策部
部長	高永 幸夫
部員	別示

区分	災害ボランティア部
部長	松舟 大吾
部員	別示

区分	罹災証明部
部長	蔵谷 健
部員	別示

区分	視察対応部
部長	境目昭博（兼）
部員	別示

区分	会計部
部長	犬童 和成
部員	別示